

掛川市のまちづくりのビジョン

～「未来に向けてチャレンジできるまち掛川」を目指して～

掛川市長 久保田 崇

1 掛川市の将来像

未来に向けてチャレンジできるまち掛川

社会状況や自然環境、人々の生活や価値観は、急速に大きく変化しており、掛川市は、持続可能な未来に向けて、地域の歴史を誇り大切にしながら、新しいステージに挑むときを迎えています。

平成 19 年 12 月に発信した「生涯学習都市宣言」は、市民が少しでも多くの幸せを実感し、健康で生甲斐を持って生きていくために、一生涯学び続けていくことを掲げています。また、平成 25 年 4 月に施行した「自治基本条例」は、協働により「希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち」掛川の創造を目指しています。

学びを続け、ともに役立ちあう「生涯学習」は、市民のチャレンジの積み重ねから実現し、そうした市民によるたくさんのチャレンジが広がることは、「希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち」掛川へとつながります。

本市は、この「生涯学習都市宣言」と「自治基本条例」の理念を実現するため、市民一人ひとりが輝き、いつでも、誰でも、何回でも、「未来に向けてチャレンジできるまち」を目指します。

2 まちづくりの基本姿勢 <3つのしこう>

掛川市のまちづくりは、将来像を実現するため

- ①市民との対話を大切にし、(対話志向)
- ②柔軟な思いや考えをもって、(柔軟思考)
- ③未来に向けてチャレンジする姿勢で取り組みます。(未来試行)

① 対話志向

掛川市のまちづくりは、互いを尊重しあい、ともに話しあうことが重要です。

市民と市がこれまで培ってきた「報徳の精神」や「生涯学習の理念」を根幹に、市民・企業・行政などが積極的に本音の対話を重ね、状況や思いを共有し、まちのさまざまな課題に取り組むとともに、対話を通じた心豊かな人づくりにつなげます。

② 柔軟思考

掛川市のまちづくりは、柔軟に思いを巡らせ、考えることが重要です。

固定観念や既存の手法に捉われることなく、時代や社会の変化を的確に捉えながら、新しいまちづくりを進めていきます。

③ 未来試行

掛川市のまちづくりは、常に一步先の未来を描き、チャレンジすることが重要です。

これまでの地域での積み重ねを大切にしながら、さらに新しい考え方や感性、デジタルやテクノロジーなどの技術を活用し、持続可能なまちを目指します。

3 総合計画 7つの分野の戦略

- 【全体】 ●持続可能なまちを実現する、変化に対応した各分野の改革
●誰ひとり取り残さない、人に優しいデジタル化



①【教育・文化分野】生涯にわたりこころざし高く学び心豊かに暮らすまち

- ・新しい教育の創造(G I G Aスクール構想、学園化構想・保幼小中の一貫した教育の推進)
- ・少しでも多くの幸せを実感するための生涯学習の推進
- ・デジタル技術を活用した教育・文化の可能性の拡大
(電子図書館システムの運用、新たな手法による文化芸術)



②【健康・子育て、福祉分野】誰もが健やかに、安心して幸せな暮らしをともにつくるまち

- ・感染症対策の徹底(安全・安心のための迅速な情報共有、対策の実施)
- ・福祉・高齢者・子育て等、従来のネットワークを活用した情報共有
- ・デジタル技術活用による利便性向上とネットワークの強化(AIシステムの導入、迅速な情報共有)
- ・デジタルを活用するための支援(企業・団体・市民による操作サポート等の共助)
- ・困っている方の的確な把握と積極的な支援
(高齢者、外国人、低所得一人親世帯等への支援)



③【環境分野】美しい自然環境と共生し、エネルギ-の地産地消と資源循環を実現した持続可能なまち

- ・地域循環共生圏の推進(地域新電力の展開)
- ・再生可能エネルギーの普及促進
(2050年カーボンニュートラル宣言を受けた新たな目標と対策)
- ・新しい廃棄物処理施設の検討



④【産業・経済分野】新しい技術と多様な働き方から活力ある産業を生み出す、世界に誇れるお茶のまち

- ・積極的な企業等誘致(工業用地の造成、未来型産業誘致を目指した企画公募)
- ・若い人が希望をもって参入できる農業・茶業(ICTなど先端技術の活用)
- ・地域内循環・地産地消の推進(意識調査、体験機械の創出)
- ・地域ブランドの発信(掛川茶リブランディングプロジェクト「茶と暮らし、生きてゆく」)
- ・互産互消の更なる展開



⑤【シティプロモーション分野】魅力あるくらしとホスピタリティにより、選ばれるまち

- ・関係人口拡大に向けた積極的な情報発信「あなたの夢、描いたつづきは掛川で。」
(さまざまな情報発信ツールの活用、ふるさと納税の拡充、掛川茶ブランディング)
- ・移住や農業体験ができる拠点整備(空き家等を活用した施設整備推進補助金)
- ・企業等誘致策と支援(公共用地の造成、ワークスペース等施設整備補助金)
- ・社会状況の的確な把握と対応(移住促進会議の継続、ニーズ調査の実施)

⑥【安全・安心・都市基盤分野】災害に強く安全で安心な暮らしを支える基盤を整えたまち

- ハード・ソフト両面にわたる防災力の向上
- ・災害死亡者ゼロへのハード事業(海岸防災林強化、橋りょう耐震化、流域治水促進)
- ・自助・共助を進める市民の防災意識の向上(自治会防災タブレットの活用)
- ・感染症を含めた災害対策における迅速・的確な対応
(インターネット等を活用した双方向の情報共有・手続きの効率化)



⑦【協働・広域・行財政分野】協働と連携により誰もが支えあい役立ちあうまち

- ネットワークを活用した行政運営
- ・市公式LINEやSNSによる迅速な情報発信(市民と行政の情報共有、利便性の向上)
- ・スマホで行政手続きがどこでもできる「手のひら市役所」(電子申請の推進)
- ・RPAを活用した業務効率化
- ・市町連携による広域的な課題解決と効率的な行政運営

